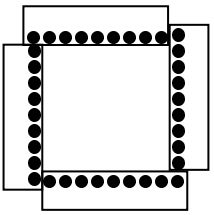


言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (大竹市立栗谷中学校)

- ① 教科等 数学科 ② 学年 第1学年
- ③ 単元名 文字と式
- ④ 本時の目標 正方形の形に基石を並べるとき、1辺に並べる基石の数と全部の基石の数の関係を見付け、文字を用いた式で表したり、式から意味を読み取ったりすることができる。
- ⑤ 学習の流れ (1時間目/全17時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 本時のめあてを確認する。 正方形の形に基石を並べるとき、基石の数に隠された秘密を見つけよう。	・ 2個, 3個, 4個・・・と基石を並べる活動を通し、問題の意味を理解させる。	
2 1辺に10個の基石を並べたときに必要な基石の求め方を考える。 ○ 図, 表, 言葉の式, 数の式を作って自分の考えをまとめる。 ○ 式の作り方を発表する。	・ 図や表をもとに、規則性や法則を見付けさせ、見付けた法則を言葉の式で表現させる。 ・ 数や記号を使って表現させる。 ・ 数の式⇔言葉の式⇔図 それぞれの表現の方法を関連付けて考えさせ、一般化へと結び付ける。 ・ どのようにして、式を作ったのかを言葉で表現させる。 ・ 文字や数の意味を発言させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事象の中にある数量やその関係・法則を文字を用いて式に表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。〔数学的な見方や考え方〕 (ホワイトボードでの操作発表内容)
3 1辺に10個並べたとき、全部の基石の個数を求める式が次のようになったとき、数の意味(求め方)を考える。 ① 9×4 ② $8 \times 4 + 4$ ③ $10 \times 4 - 4$ ④ $10 \times 2 + 8 \times 2$	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動2で、出なかった式で考えさせる。 ・ 式の意味を図で考えさせ、言葉で表現させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【① 9×4 の表現の例】</p> <p>9は、正方形の一辺10個のうち端の1個を除いた数で、図の四角で囲んだ1つ分の数です。これが4つあります。したがって、9×4は9個が4つ分という意味です。</p>  </div>	
4 本時の学習の振り返りとまとめをする。 ○ 文字を使うことのよさを確認する。 ○ ワークシートに気付きを記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校でも学習したように、中学校でも○や□の代わりに文字を使うことをおさえる。 ・ 文字に数を当てはめると1辺に並べる個数が何個であったとしても、計算できることをおさえる。 	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 操作や事象を図に表すこと、関係を表に整理することを通して、数量の関係や法則を見付け、数の式や言葉の式で表現することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 具体物を用いて問題の意味を捉えさせる。
- 数学的な表現として、現実的表現、操作的表現、図的表現、言語的表現、記号的表現などを用いる。
- 「ホワイトボード、マグネット」を活用し、図を使って自分の考えを整理させ表現させる。